

阪南市介護保険事業の特徴

令和6年8月

本市の介護保険事業について地域包括ケア「みえる化」システムより、人口規模が類似している府内団体と比較し、本市の特徴と要因を分析実施しました。

I.類似団体

比較した府内市町は、近隣の泉南市、及び人口規模が類似している高石市、大阪狭山市の3市です。

	世帯数	人口（人）	行政区域面積（km ² ）
阪南市	24,087	50,446	36.17
泉南市	26,593	58,527	48.98
高石市	26,379	56,206	11.30
大阪狭山市	26,360	57,844	11.92

II.高齢化率系年齢変化

（図1）

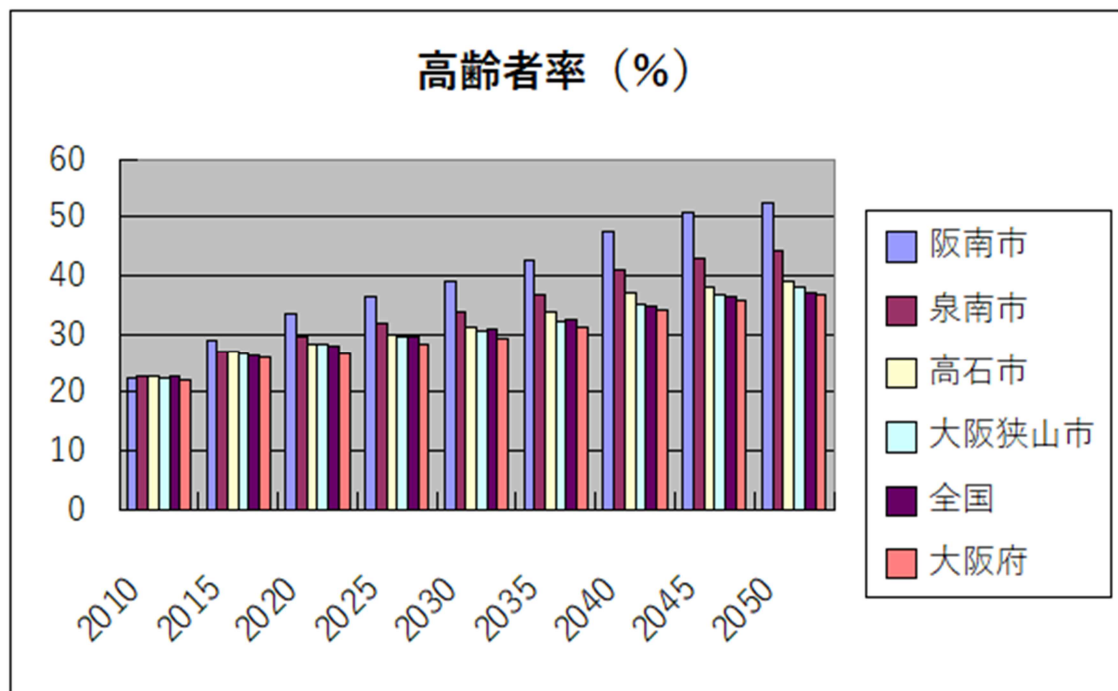
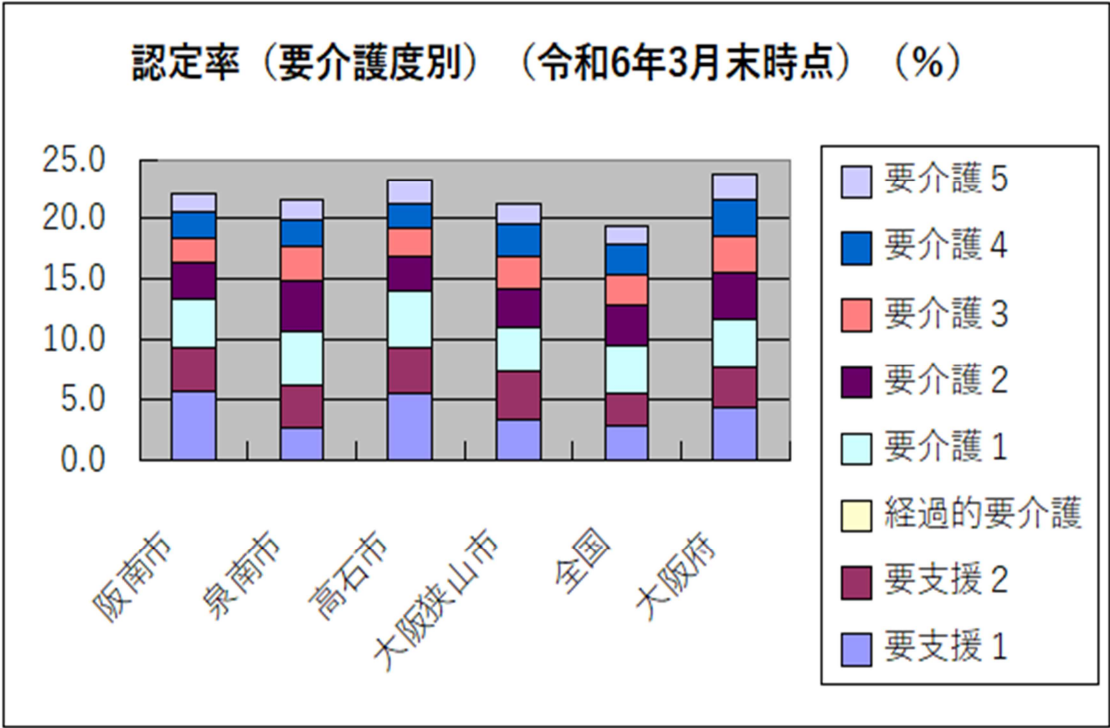


図1で本市の高齢化率を棒グラフで表しております。

全国、大阪府や類似団体と比較しても、本市の高齢化率は高く、2040年（令和22年）には47%を超える見込みとなっております。

Ⅲ.要介護認定率

(図2)



※本指標は要介護度別の「認定率」を示すものです。

図2で大阪府は全国的に見て、高い認定率となっております。
阪南市は大阪府平均に比べると、低い認定率ですが、年々増加傾向にあり、類似団体の中では、高石市に次いで2番目に高い認定率となっています。

IV.一人当たりの給付費（費用額）

（図3）

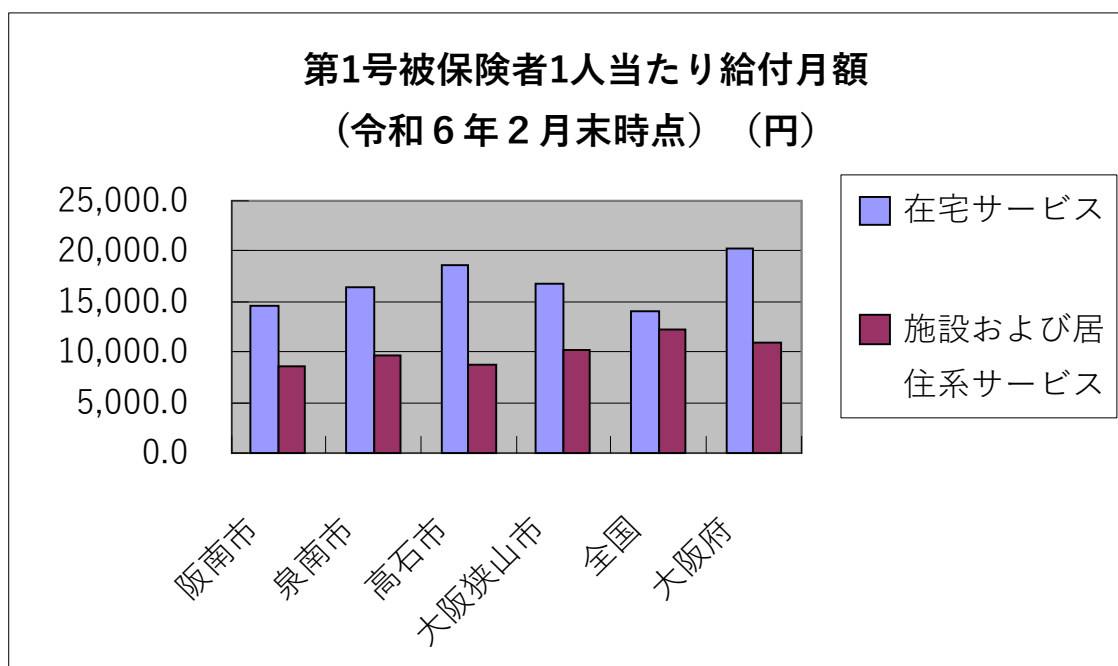


図3で本市の第1号被保険者1人当たりの給付月額は、府内類似団体と比較して、在宅サービス及び施設サービス・居住系サービスともに一番低くなっていますが、全国平均からみますと、在宅サービスに係る費用は、高くなっております。

V. まとめ

本市の特性としましては、全国平均と比べ、在宅サービスは高く、施設サービス・居住系サービスは低い値となっております。また、認定率も全国平均と比べますと、高くなっております。

ひとつの要因として、大阪府は、要介護認定者（認定率）が多く、また、要支援1・2の割合が多いなどの理由が考えられます。

また、高齢化率の経年変化を見ましても、全国や大阪府と比べ上昇率がより高くなっており、本市の第9期介護保険事業計画における介護保険料（6,300円）は全国平均（6,225円）を超えた状態となっております。

今後も、より一層の地域包括ケアのさらなる「深化・推進及び介護予防などの取り組みが必要となってきます。